昭和三年九月十六日第三種郵便物認可
昭和四年十月十六日發行

日本民衆新聞 號外

東京市芝區…
編輯兼發行人 …
東京市…
發行所 日本民衆新聞社

品川製作所從業員 遂に罷業を敢行す

奇怪？幹部の組合費横領を 何故か擁護する會社

品川町袖ケ崎品川製作所從業員に依つて組織さるゝ日本勞働總同盟東京鐵工組合大崎第八支部は昨夜總罷業を決議し、今朝（十六日）より立正大學下大崎勞働會館に集合し左記の要求書を提出することゝなつた

要求書

一、左記五名の解雇は絶對に認むることを得ず、之れが復職を要求す

四谷總藏、清水勝示、越川哲、中山庄太郎、生澤龍三

二、左記七名の解雇を要求す

山口秀人、田中信太郎、秋山金次郎、田中庄三郎、成田平周、荒川繁司、中村市三郎

理由

小林龍次、山口秀人等が從業員共同の金錢を横領せしとの事に關し、過に大崎署に檢擧せられしことは公知の事であるが、附名並に第二項に記載せる諸君は何等の反省する所なきのみか却つて、金錢横領に何等の關係なき正しき我等の代表者の解雇を要求し或は暴力を以て多數從業員を威嚇する等我等は到底之れを忍ぶ事を得ず茲に會社の斷乎たる決意を要求するものである

三、品川製作所は從來山口秀人一味の遊興費その他概算一ヶ年六千圓を支出し居るものと認むるも爾今斯の如きは絶對に行はざると同時に全從業員の爲めに食堂並に第二工場に洗面所を直に設置せられ度し

十月十六日

品川製作所從業員一同

會社大狼狽

彼等ドロ幹一味の獨斷の行はれた事實は、會社をして全從業員を罷業せしめ總同盟の醜態行の醜態なきものと見くびらせ、醜態な擁助し其派幹部を擁護するの不見識と醜態をなさしむるに至つたのであるから、いよ〳〵醜態に入るや會社は周章おくところを知らず大狼狽の醜態である

盜人たけ〴〵しい ドロ幹の一味

正義派極度に憤激して 一擧總同盟へ

問題の發端

同所從業員全員はかねて日本勞働組合同盟關東金屬産業勞働組合品川支部を組織してゐたが本月上旬同支部會計小林龍次が支部並に從業員共有の金錢を拐帶し失踪した。ところが、支部長山口秀人は此旨直に大崎署へ訴へ出でその取押へ方を依頼した。大崎署では直に取押へ取調べると約三千圓を横領して居る事を發見すると同時に、捜索取押へ方を許願せし山口秀人自身は露よりその一味數名が共に之を消費せる事實を發見するに至れり。茲に於てはじめて事實を知つた同支部員の非難は益々と起り同時に山口秀人も亦會計小林と共に大崎署に留置され益々事件は擴大せんとするに至つた。然るに同組合本部は…醜態を加へて遂に幹部會に於ても亦之を刑事犯人たらしむることを忍びずとなし、力を盡して示談内濟を勸めたのであつた、關係なき幹部もまた之を刑事犯人たらしむることを忍びずとなし、かては九日夜示威をすることに決し、西谷總藏君を委員長とする整理委員會に整理せしめることになつた。然るに山口秀人一味は（小林會計は昨朝まで留置中）その友輩に感じ或は恥ぢを知るところなきのみか、所謂盜人たけ〴〵しき態度を以て更に醜辣なる陰謀をめぐらし、關係なき正しき幹部を一掃し、醜類一味に依つて却て自己の非を掩ひ、その地位を保たんことに狂奔し、その後益々暴力的態度を以て組合員を脅迫し、自派に屈從せしめんことに努めた。かくの如く態度はいたく全從業員を憤慨せしめ、ドロ幹を葬れ！正義派幹部を擁護せよ！と口々に叫び遂に十二日工場食堂内に於て、總同盟東京鐵工組合に加入し、大崎第八支部結成の態度を決するに至り、當夜大崎町大崎クラブに於て盛大なる發會式を擧行するに至つたことは、本紙二十六號（十月十五日發行）にも報道した通りである。

【裏面注意】